

【 山陰インバウンドニュース 5月号 】

令和 4 年 5 月 27 日
 (一社) 山陰インバウンド機構

「第 1 回とっとり日本遺産ネットワーク会議」が発足

鳥取県内で認定されている4つの地域の「日本遺産」の連携を目指す初めての会議が、5月13日に三朝町で開かれました。

「日本遺産」は、文化財をツールにしたストーリーで、国内外、とくに海外からの観光客の誘客促進に繋げることを目的に 2015 年度に創設されたもので、2015 年に同町を含む 24 府県の 18 件が初めて認定されました。以降、鳥取県内関係では、3つのストーリーが認定されています。

2021 年度に導入された評価制度で、三朝町の「六根洗浄・六感治療の地」が再審査を経て認定継続されました。会議は、こうした状況への危機感から初めて開かれたもので、4つの日本遺産関係者のほか、県内観光団体や鳥取県、山陰インバウンド機構などが構成メンバーとして会議に参加しました。

会議では、県内の「日本遺産」をPRするフォーラムを6月に三朝町で開催することや、各地域の魅力を紹介するパネルの巡回展を行うことが決定されました。

参加者からは「地元の認識が弱く、地域一体となった盛り上がり欠ける。観光振興だけでなく、地元の人への情報発信に積極的に取り組んでいくことが重要」、「県内の日本遺産の取組は個々の動きに留まっており、これまで横の繋がりが十分でなかった。ネットワークの会の発足を契機に、個々の課題や取組が共有できることを期待する」などの発言がありました。

当機構では、ネットワークの構成メンバーと連携しながら、鳥取県内の文化財を活用した観光商品の開発や国外へのプロモーションなど、インバウンド復活に向けた取組を今後も推進していきます。



会場の様子

令和 4 年度 山陰インバウンドセミナー 始動！

山陰インバウンド機構では、1か月に1回程度インバウンドセミナーとして ZOOM を使った web セミナーを実施しています。今年度最初の回は、当機構の『令和3年度 事業報告会』と題し、5月18日(水)13:30~14:30 に実施。事務局長の森本 誠人より説明させていただき、当日 96 名の方々にご視聴いただきました。今後も様々なテーマのもと、いろいろな講師陣をお呼びしてのセミナーを実施していきますので、ぜひ奮ってご参加ください。



セミナーの様子 ※YouTube でも配信中。山陰インバウンド機構 HP トップページよりご覧いただけます

★ 山陰インバウンドセミナー 直近の開催予定

次回以降全3回で当機構の各部の取組についてご紹介いたします。

<山陰インバウンド機構 取組紹介（第1回）>

◇日 時：6月1日（水）15：00～16：00 ※いつもと開催時間が違うため、ご注意ください。

◇演 題：「観光で地域を豊かにする意義と取り組み」 ◇説明者：当機構 マネジメント部 部長 米村 康幸

◇開催方法：Web サービス「ZOOM」のウェビナー機能を利用。

◇参加料：無料。参加方法等詳細は、下記 URL をご覧ください。

直接リンク先：https://www.sanin-tourism.com/news_dmo/8557.html

◇その他：取組紹介の第2回、第3回についても、下記の日程で予定しております。

詳細は決まり次第、当機構ホームページにてお知らせします。こちらもぜひご視聴ください。

第2回 6/15（水）13：30～14：30 市場開発部

第3回 7/6（水）13：30～14：30 マーケティング部

山陰インバウンド機構ホームページ <https://www.sanin-tourism.com>



【セミナーへの参加方法】

当セミナーは、Web サービス「ZOOM」のウェビナー機能を利用して開催します。下記の登録用 URL をクリックし、参加者の「氏名」、「会社名」、「役職」、「Eメールアドレス」をご登録ください。（後日、登録されたメールアドレスにウェビナー参加に関する確認メールが送信されます。報告会の開会時間になりましたら、確認メールの「ここをクリックして参加」で参加いただけます。）いずれのセミナーも参加費は無料です。

鳥取県立米子南高等学校 課題研究「観光ビジネス」授業で講義実施

鳥取県立米子南高等学校商業課課題研究「観光ビジネス」では、授業の一環として外部機関との連携を図り、地域の特色を活かした「鳥取県の観光振興」をテーマに取り組んでいます。この度は、同校から当機構に講師派遣の依頼を受け、5月13日に「インバウンドに取り組む意義」や「明日の日本を支える観光ビジョン」等について授業を実施しました。続いて、生徒17名が小グループに分かれて体験ツアーの企画、立案をするうえで、指導助言を行ったり、質問に回答するなどして、生徒のみなさんのチャレンジを応援して、山陰の観光への興味・関心を深める取組を実施しました。



講義の様子①



講義の様子②

観光関連統計等

山陰への外国人延べ宿泊者数※観光庁宿泊旅行統計調査（従業員10人未満の施設を含む）

期間	山陰への外国人宿泊者数（鳥取/島根）	比較
2022年2月	1,270人泊（鳥取250人/島根1,020人）	（2021年2月）1,570人泊 （2020年2月）11,460人泊
【参考】日本全体の現状（2022年2月） （速報値）	205,390人泊 ※観光庁宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html	（2021年2月）206,900人泊 （2020年2月）4,851,940人泊